A world map with a light green background and black outlines of continents and countries. The map is centered on the Atlantic Ocean.

Weekly Market Monitor

---主要コモディティ・金利編---

2022年1月14日データ迄収録

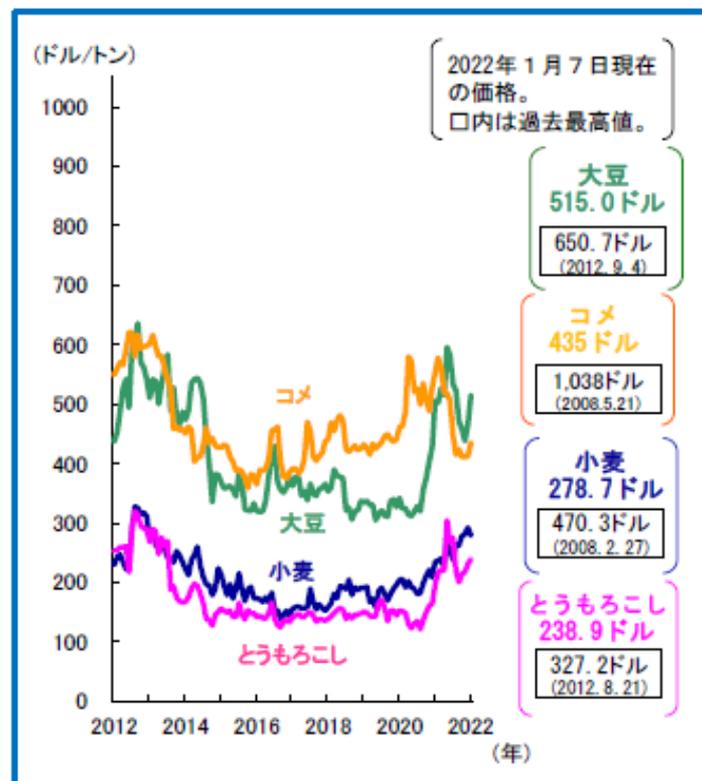
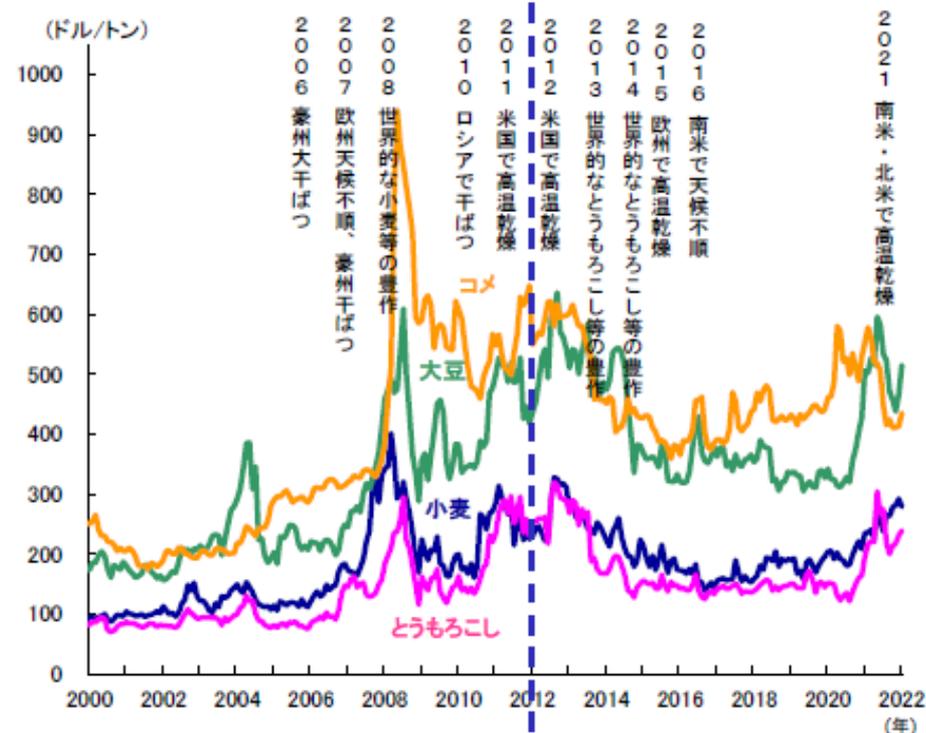
穀物は全般に大幅な上昇も一巡

穀物等の国際価格の動向 (ドル/トン)

○とうもろこし、大豆が史上最高値を記録した2012年以降、世界的な豊作等から穀物等価格は低下。2017年以降ほぼ横ばいで推移も、2020年後半から南米の乾燥、中国の輸入需要の増加、2021年の北米の北部の高温乾燥等により上昇。コメは、2013年以降低下も2020年ベトナムの輸出枠設定や2021年初頭のコンテナ不足等で一時的に上昇。2021年2月半ばから海外需要低迷で低下。

○なお、穀物等価格は、新興国の畜産物消費の増加を背景とした堅調な需要やエネルギー向け需要により、2008年以前を上回る水準で推移している。

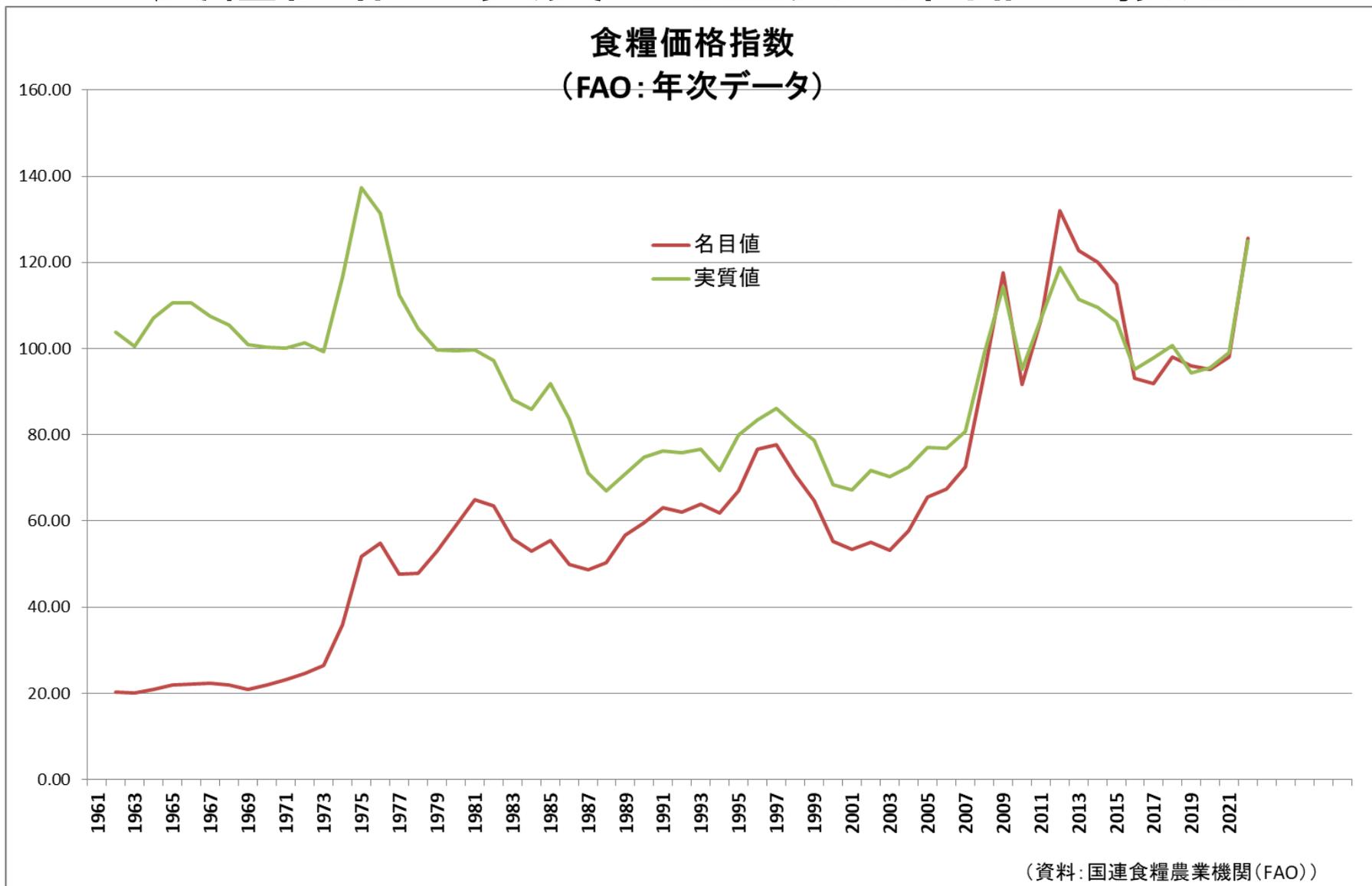
□ 穀物等の国際価格の動向



注1：小麦、とうもろこし、大豆は、シカゴ商品取引所の各月第1金曜日の期近終値の価格(セツルメント)である。コメは、タイ国家貿易取引委員会公表による各月第1水曜日のタイうるち精米100%2等のFOB価格である。

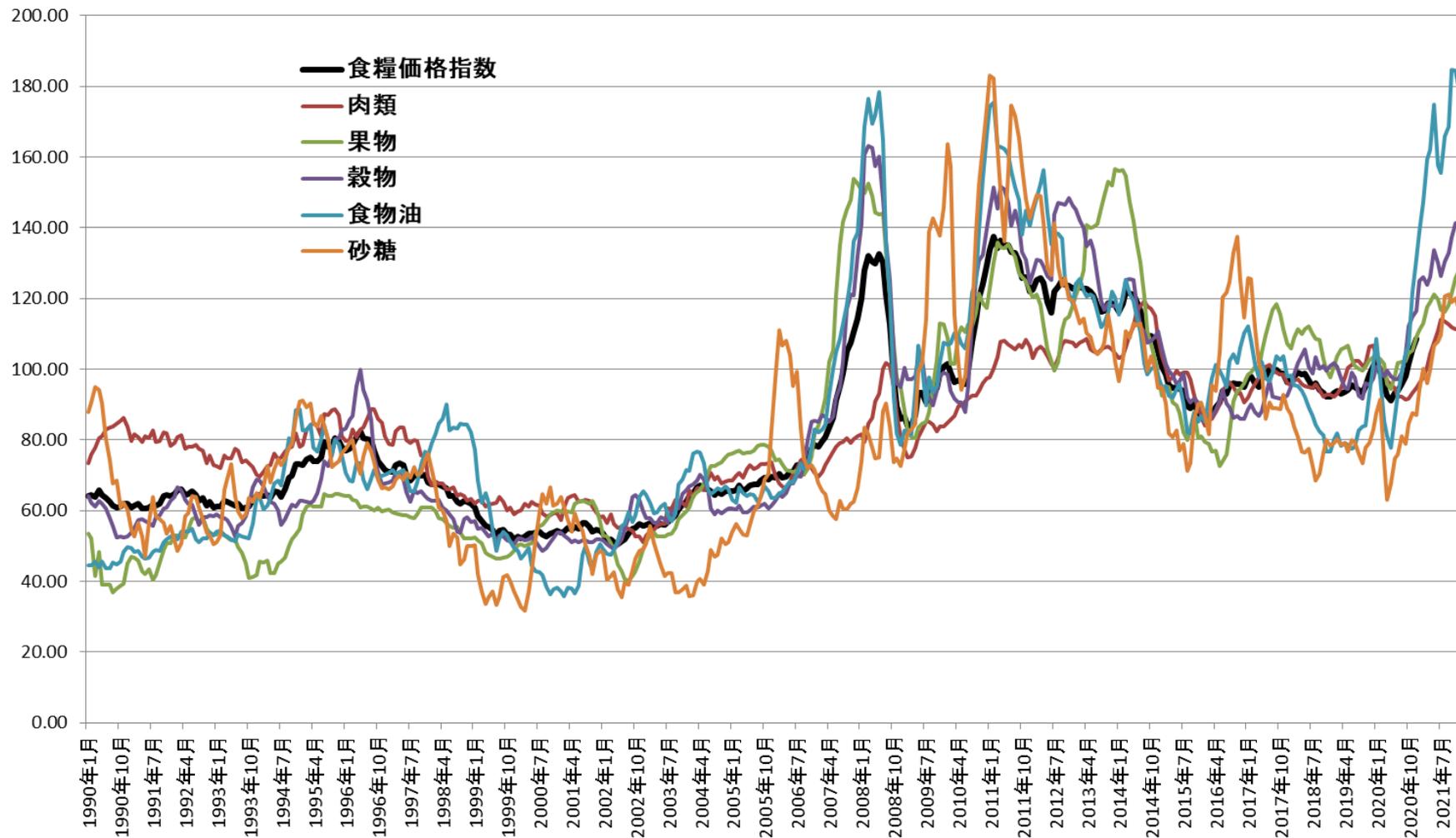
注2：過去最高価格については、コメはタイ国家貿易取引委員会の公表する価格の最高価格、コメ以外はシカゴ商品取引所の全ての取引日における期近終値の最高価格。

食糧価格は実質でも歴史的 high 値に接近



食糧価格は急上昇も依然継続

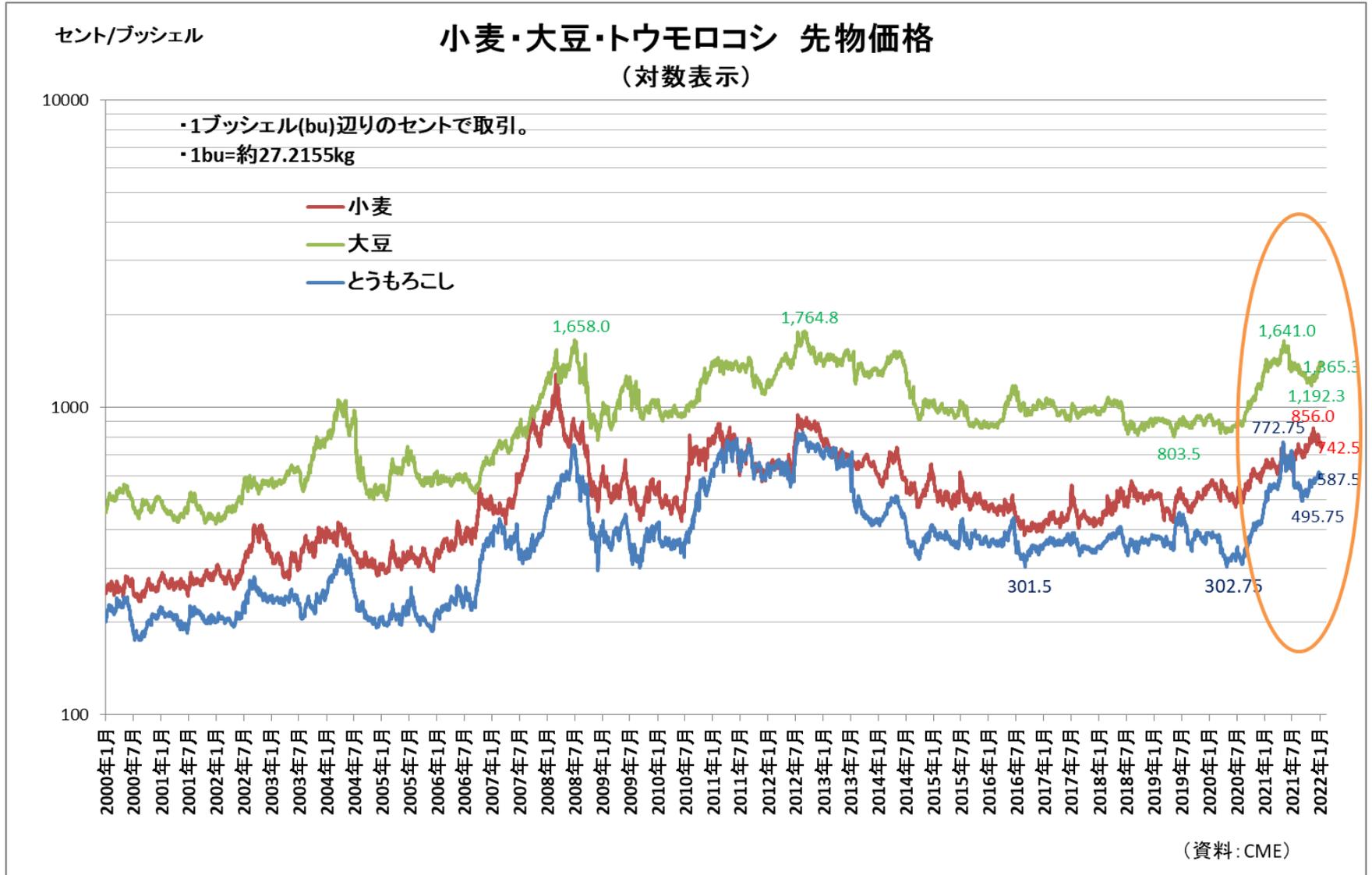
食糧価格指数 (FAO)



(資料: 国連食糧農業機関(FAO))

穀物は水準切り上げも一巡

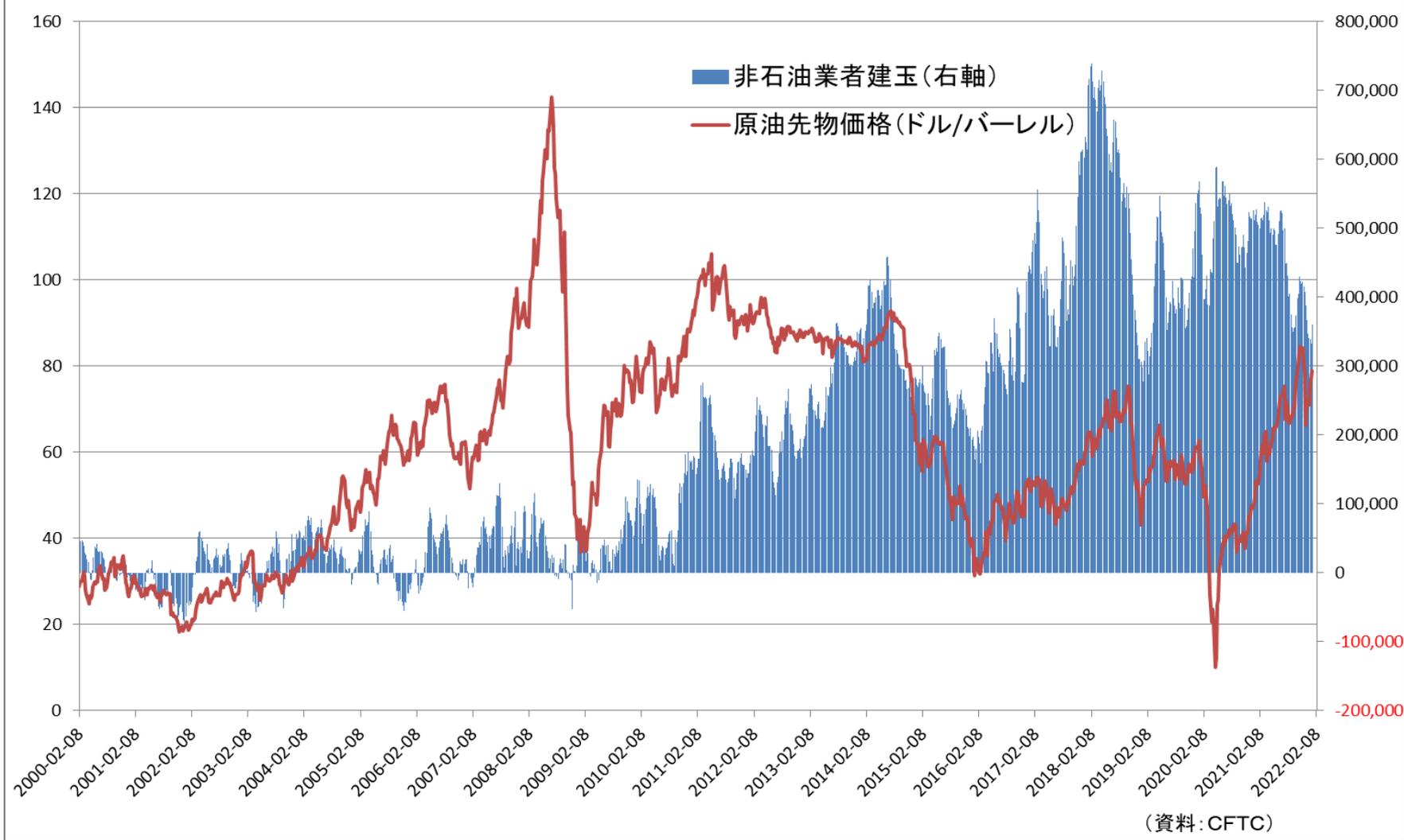
---飼料や原油価格高騰によるバイオ燃料の需要拡大が価格上昇要因---



世界の投資家の原油先物ポジション

---原油需給に楽観的なポジションも水準横這いから減少に---

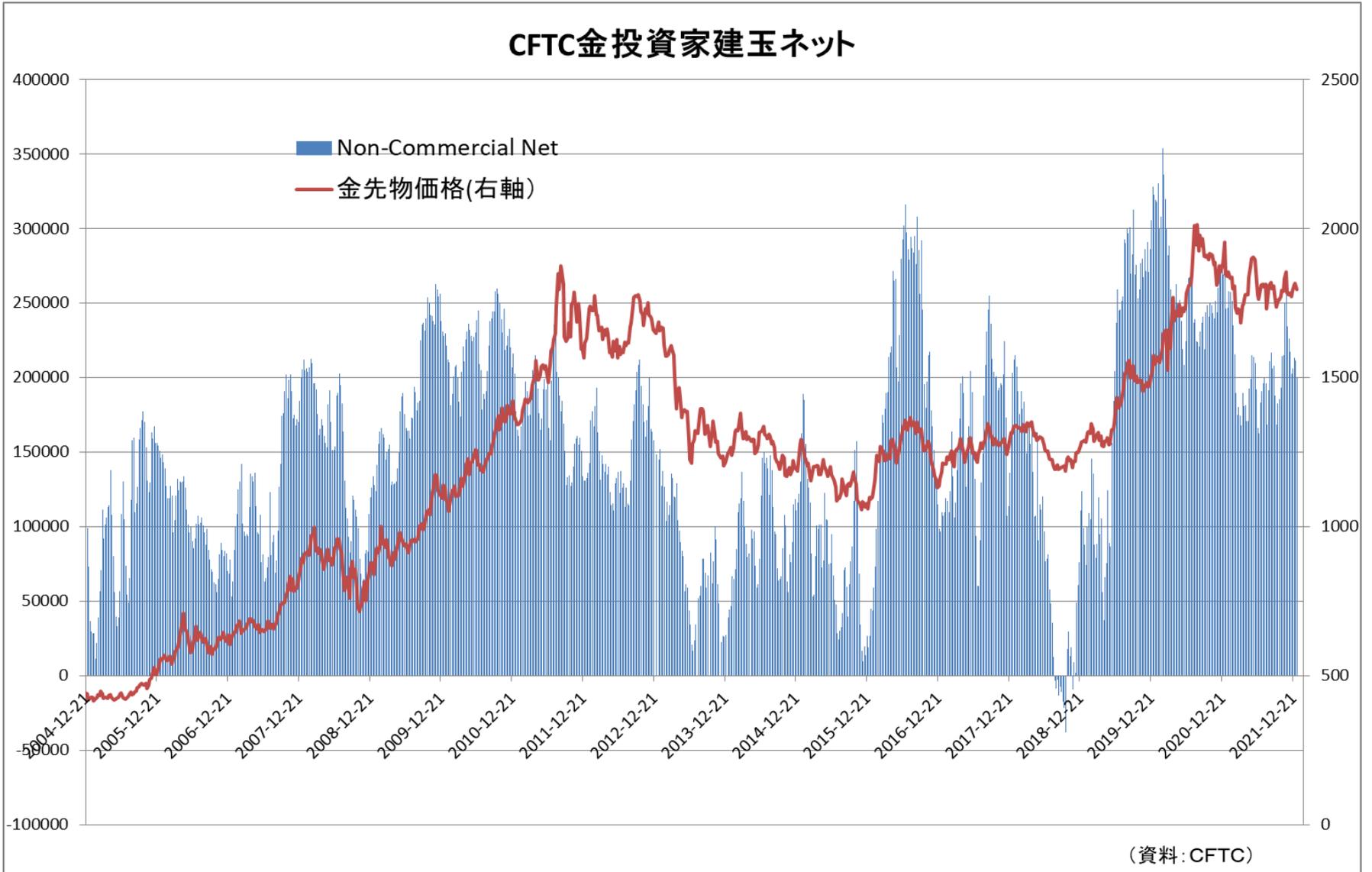
CFTC WTI原油投資家建玉ネット



世界の投資家の金先物ポジション

---投資家ポジションはドル高で減少も一巡し再増加含み---

CFTC金投資家建玉ネット

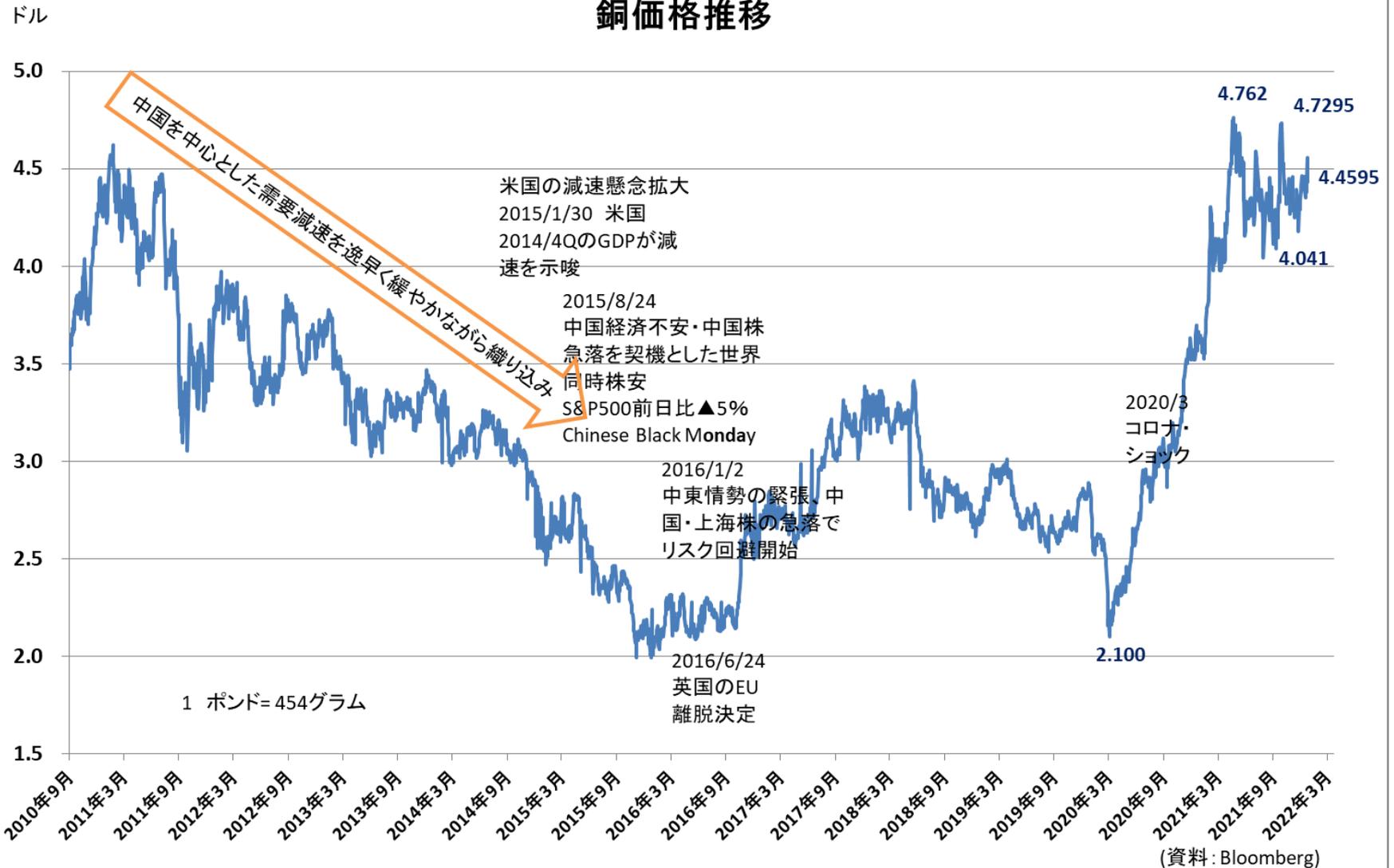


(資料: CFTC)

新型ウィルスで価格下落後、上昇・高値維持も限界的に

---中国経済の好調な状況とEV車需要等を織り込みもオーバーシュート域---

銅価格推移

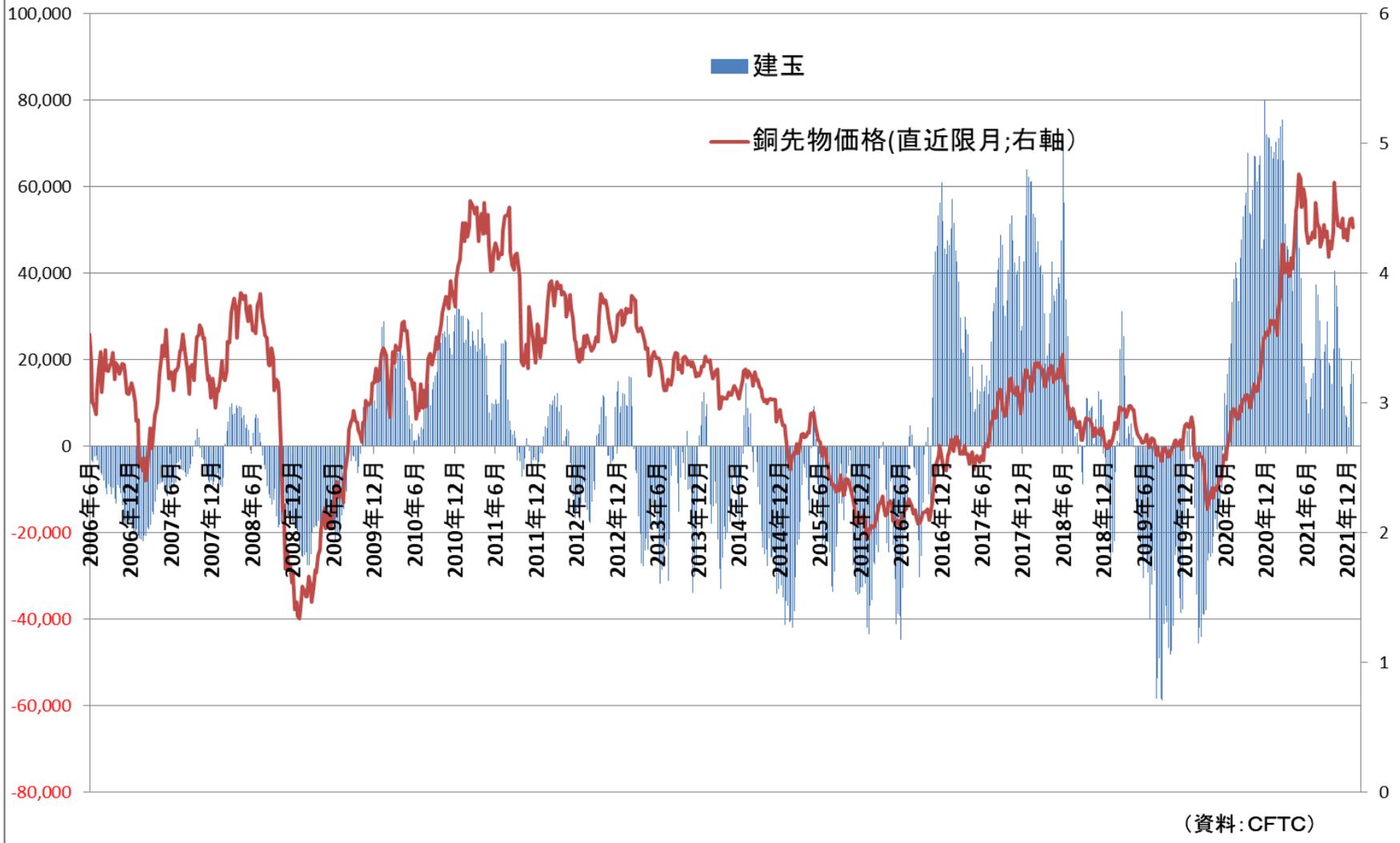


銅先物買建オーバーシュートから減少後増加も限定的

---過去の中国の経済期待とグリーンエネルギー需要を過度に織り込み---

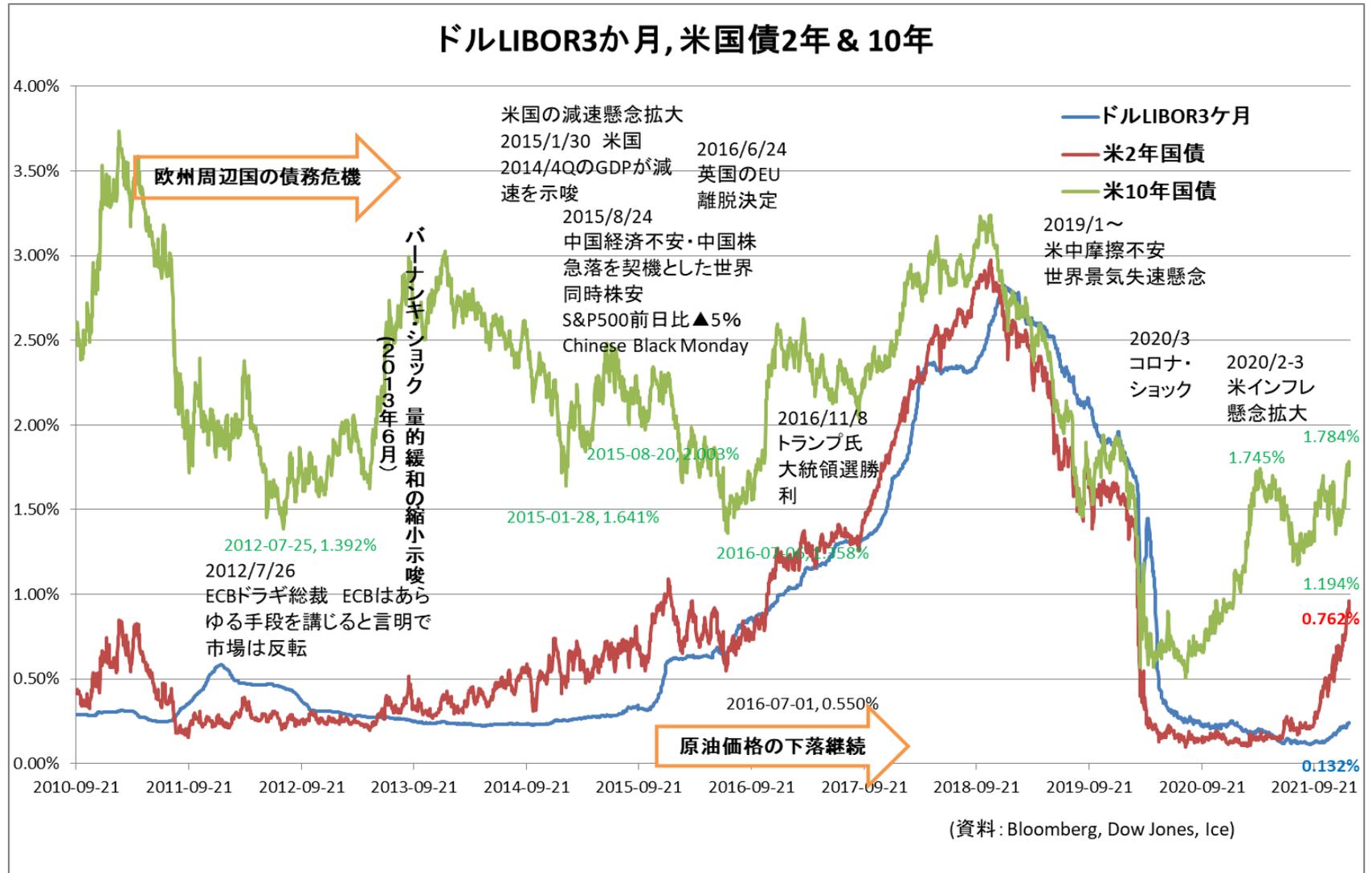
CFTC銅投資家建玉ネット

ドル/ポンド



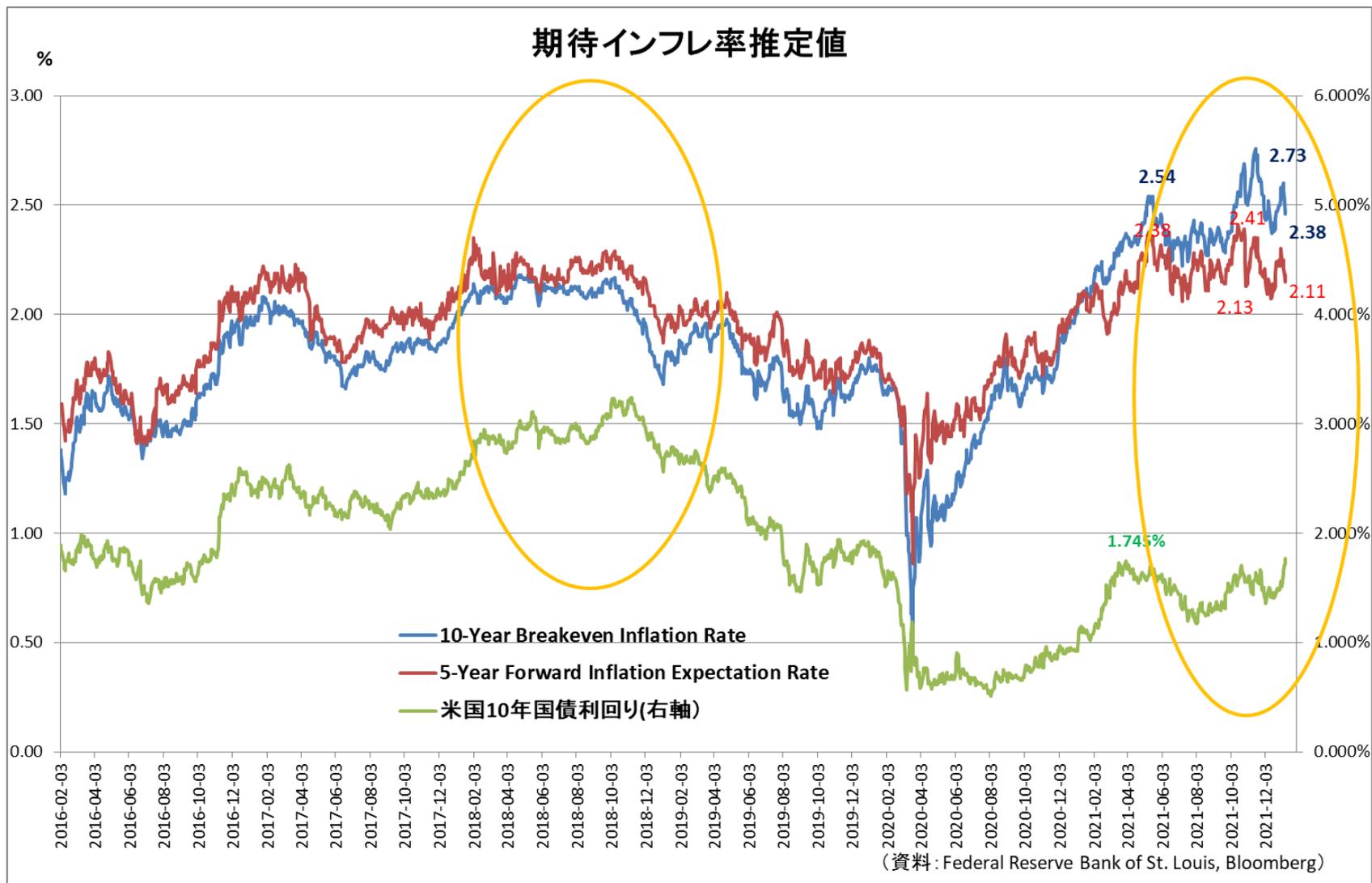
ドル金利動向

---再度、インフレ懸念による10年国債利回り上昇---



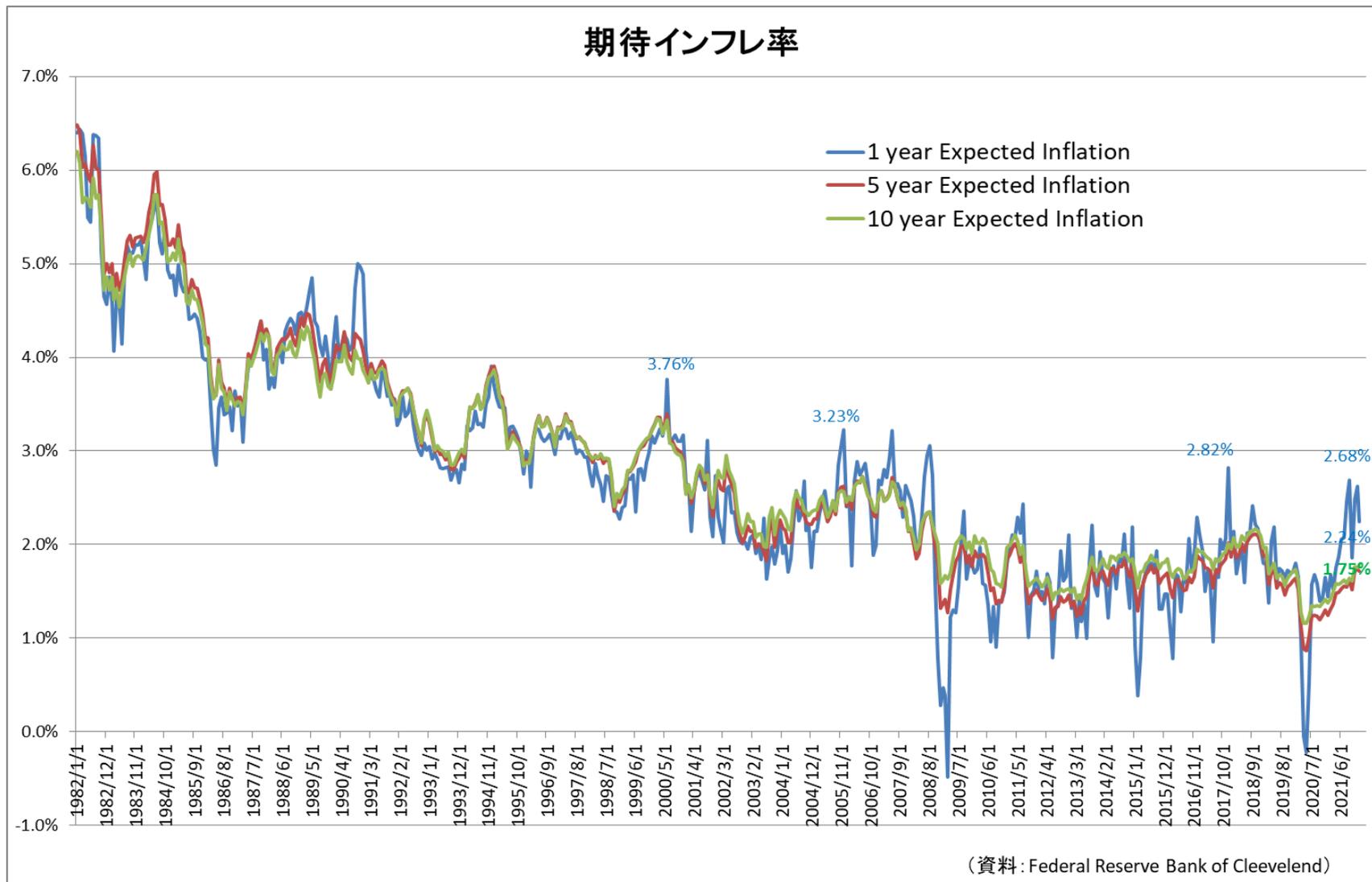
米国の期待インフレも終息だが高止まり

---米国債利回りから推計されるインフレ率は依然高い水準---



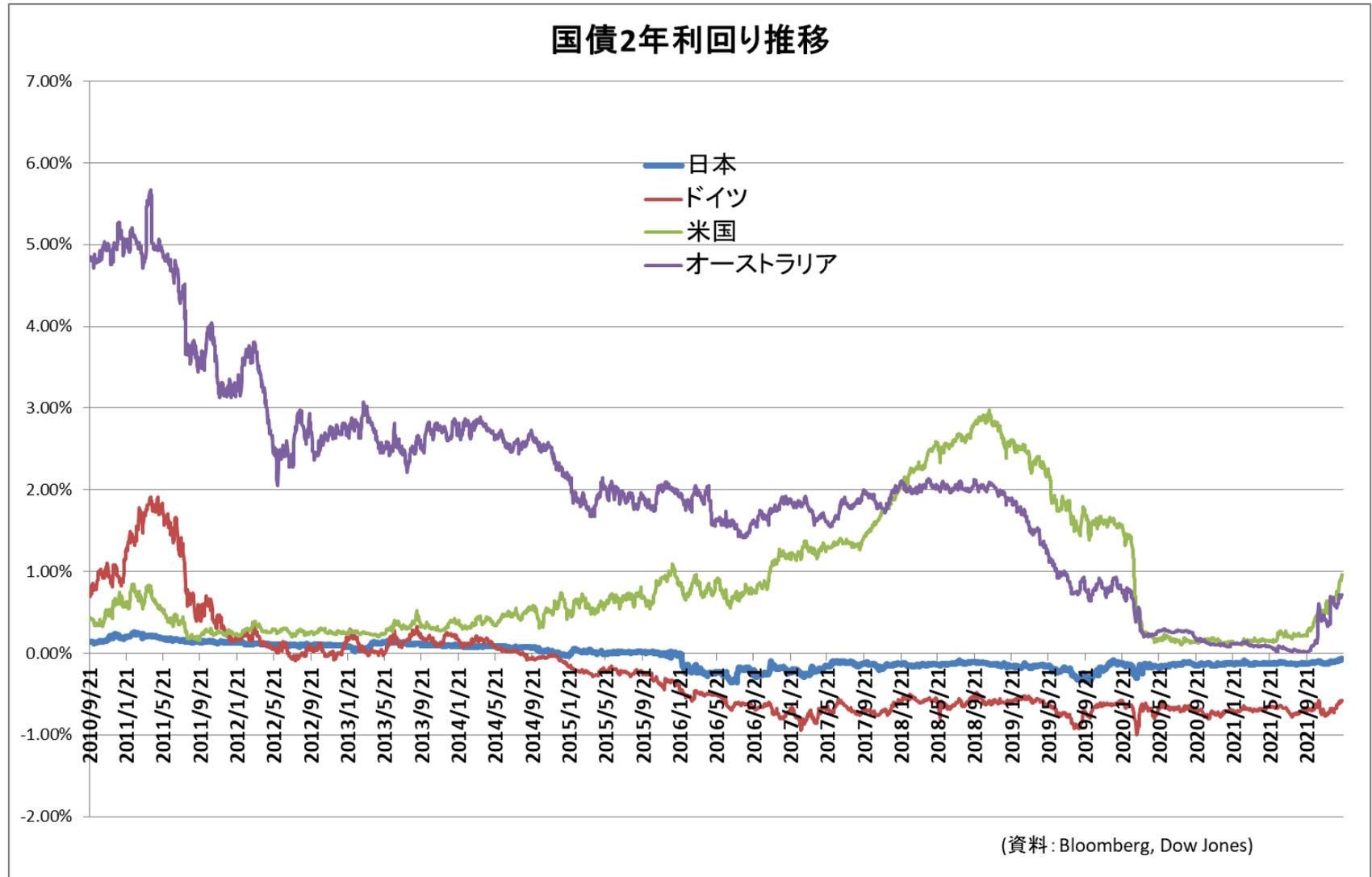
米国の期待インフレ

---ファンダメンタルを加味した推計は依然としてマイルドな水準---



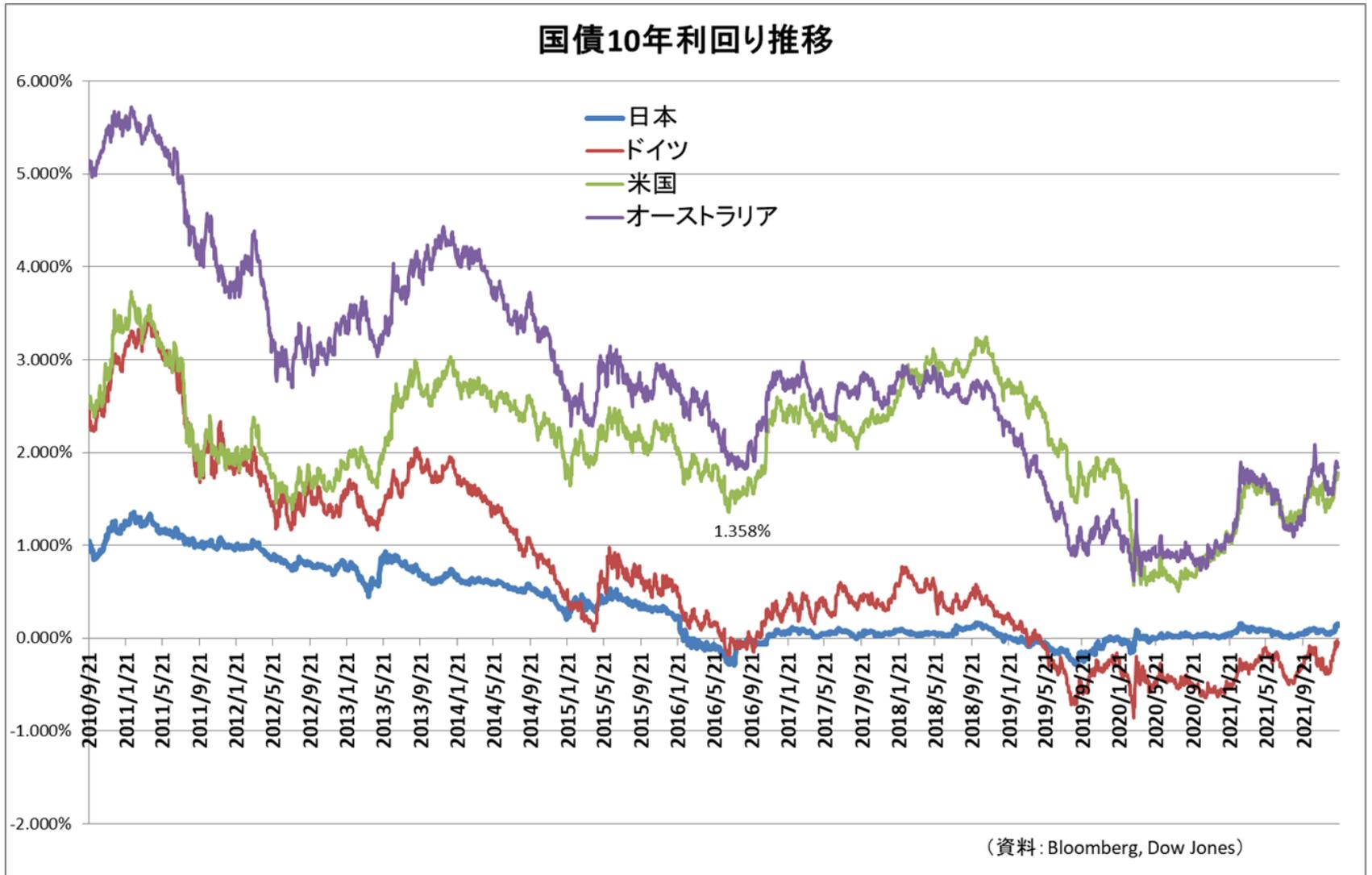
金利動向

---ウィルス要因で短期金利は急低下後低位安定から上昇含み---



金利動向

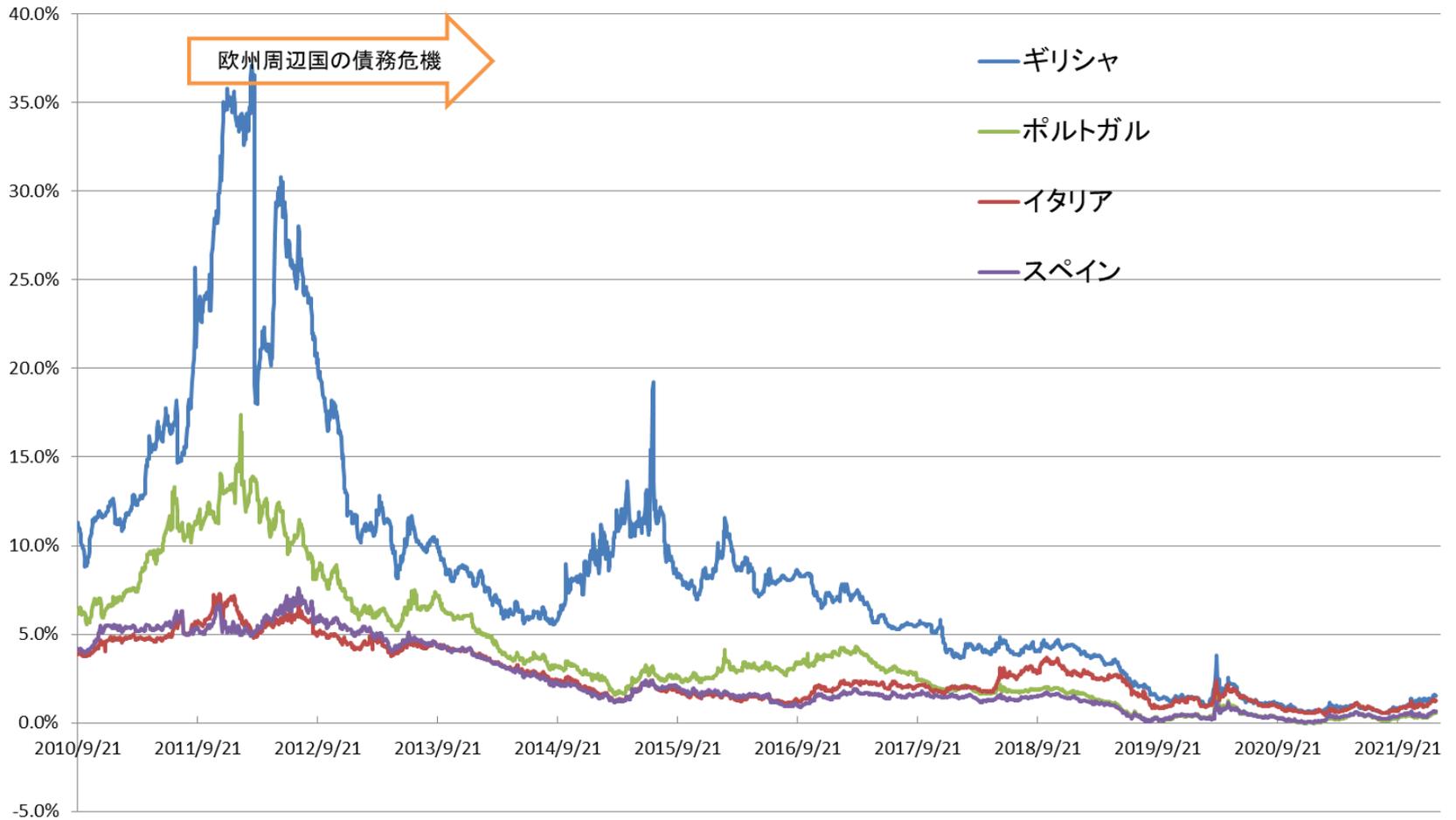
---ウィルス要因で金利急低下後、現状二極分化---



金利動向

---欧州周辺国金利も底這い圏から緩慢に上昇---

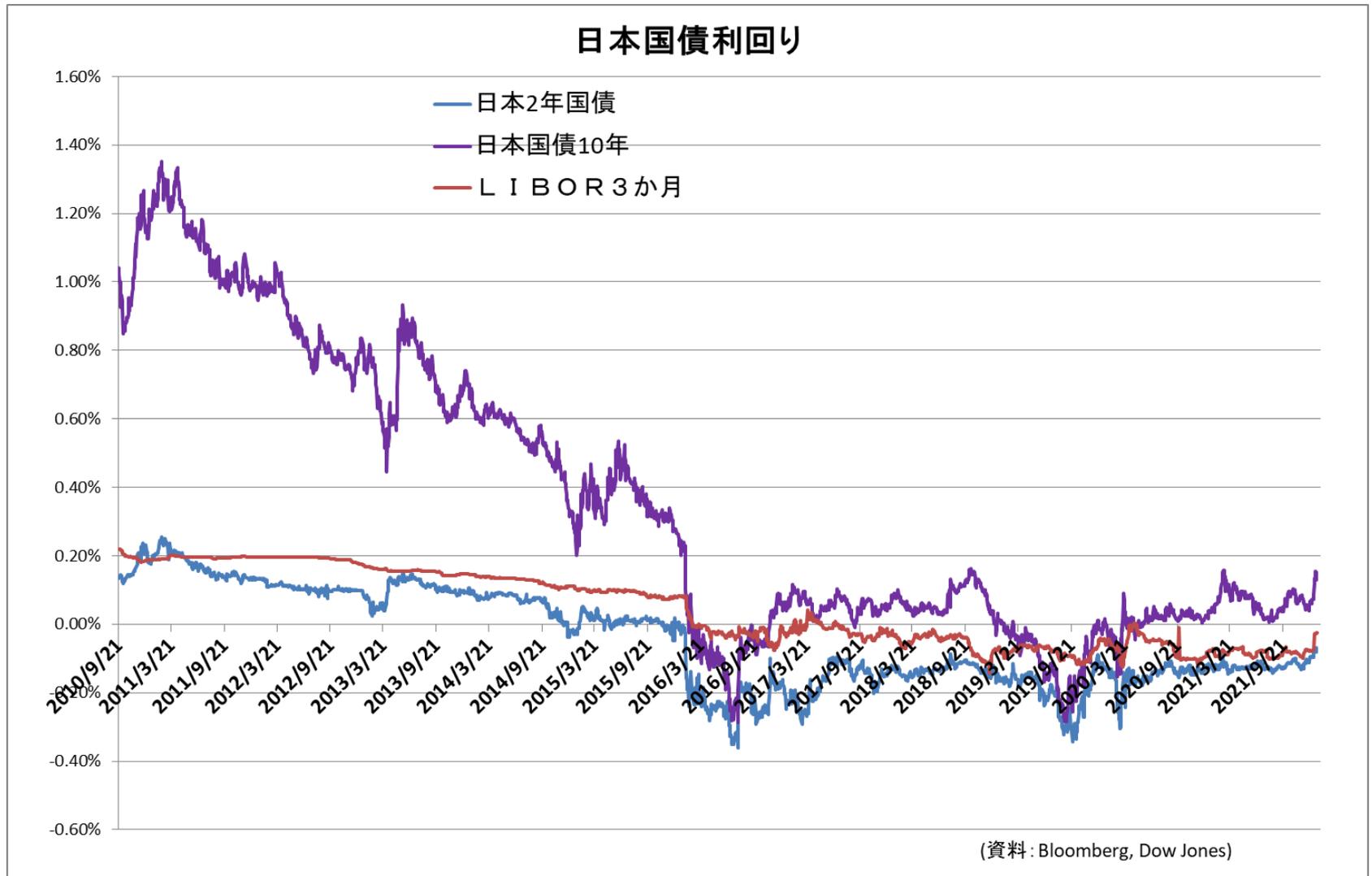
ユーロ圏周辺国10年国債利回り推移



(資料: Bloomberg, Dow Jones)

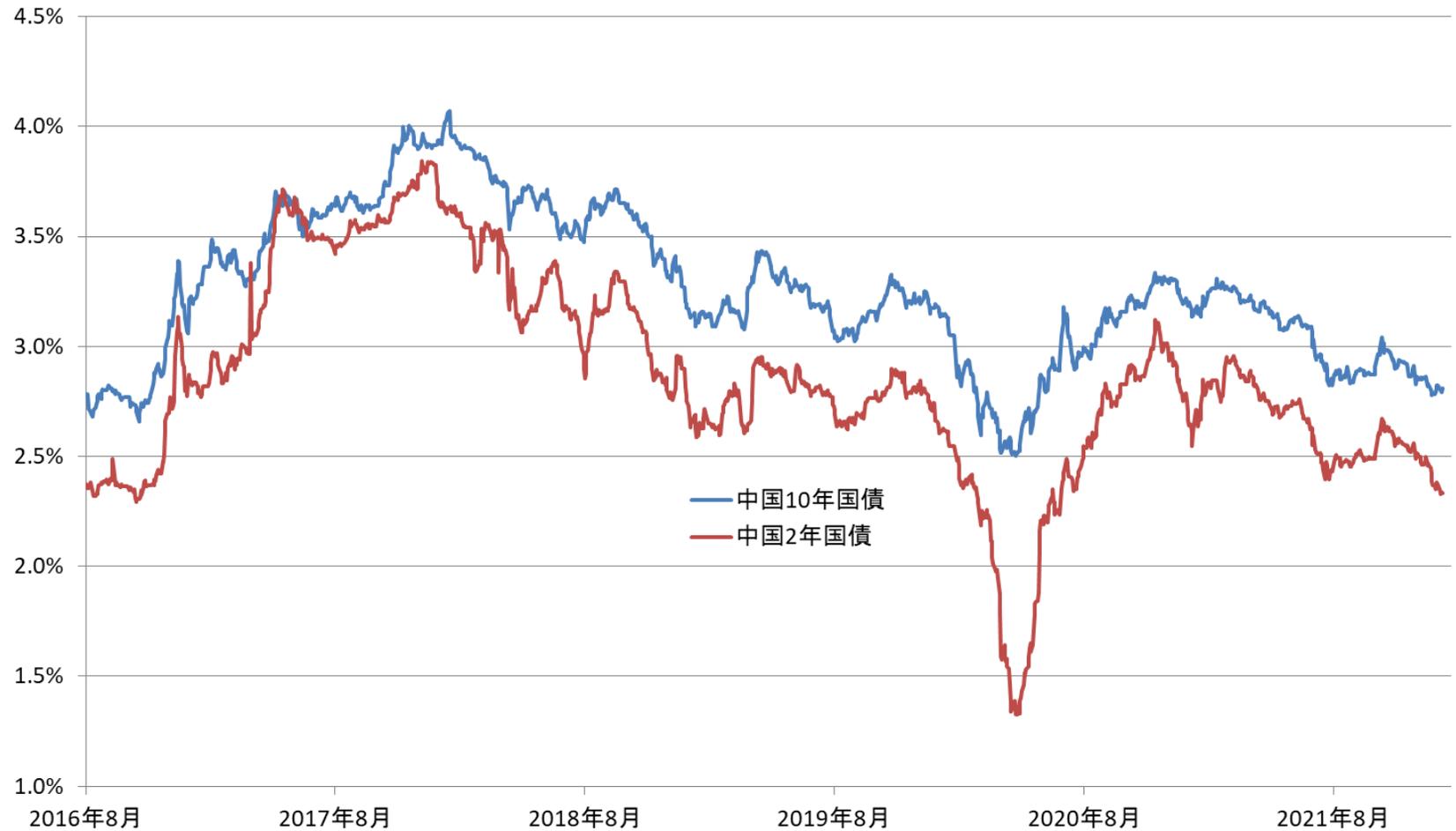
金利動向

---円金利は引き続きレンジ内---



中国短長期金利は低下傾向

中国国債利回り最近の推移



(資料: Bloomberg, Dow Jones)

DISCLAIMER

本レポートに含まれる情報は、予測に関するものを含め、本レポートの発行時点で、信頼に足ると考えられる資料及び情報源から取得したものです。当社は、それらの情報の正確性について疑うべき事由を認識してはおりませんが、それらの情報に関する検証を行ってはおらず、また、それらの情報について表明、保証等を行うものではありません。

本レポートの読者は、本レポートに含まれる情報の関連性、正確性及び完全性並びにそれらの情報が最新のものであるか否かについて、独自に評価する責任があります。

本レポートは、純粋な情報提供の目的でご提供するものであり、従って、有価証券若しくはその他の金融商品の売買若しくは取得の申し込み又はその誘因を目的とするものではありません。

当社は、何人に対しても、本レポートに含まれる情報を使用し、またはそれらの情報に依拠したことにより生じた損失、損害、費用及び経費について、一切責任を負いません。